

ボランティアのマイクさん一行 オーストラリアから来釧



(左から) 大阪大学附属病院 山本さん・ツルセンター河瀬館長・ミランダさん・マイクさん・リチャードさん・愛護会吉田会長

Impressions of my visit

On February 3rd, I was fortunate to be invited to visit the crane sanctuary in Akan, along with my very good friend from Osaka and two other friends from Australia. Until then, I had only seen cranes on television, so it was a very special experience for me to see them in their natural environment: I was very impressed to be able to witness the cranes' variety of behaviours such as feeding, preening themselves, resting, dancing, calling to each other and flying gracefully over the winter landscape.

The Japanese Red-crowned Crane is so elegant and beautiful with their long wings, elegant form and distinctive red crown which contrasted so magnificently against the white winter background, and I enjoyed every minute spent watching them and learning about their annual lifecycle and habitat and the history of their near-extinction and preservation.

At the Tsurui Nature Park, I was very pleased to meet Honorary Director Mr Takahashi, who has devoted his whole life to the care and preservation of these wonderful birds and it is thanks to people like him and the efforts of others at Kushiro Red-crowned Crane Protection Society and the Akan International Crane Centre that the crane population is gradually increasing. Even as a foreigner, I can appreciate how important it is to look after such an iconic emblem of Japanese life and culture.

(M C Eabry)

阿寒と釧路を訪れた私の感想

2月3日、私は、大阪の親友とオーストラリアから来た2人の友人と共に、阿寒の丹頂鶴保護区を訪問する機会に恵まれました。それまでは丹頂鶴をテレビでしか見たことがなかったので、自然環境の中でそれらを見ることはとても特別な経験でした。摂食したり、羽づくろいをしたり、休んだり、舞ったり、鳴き合ったり、冬景色の中で優雅に飛んだりする丹頂の様々な行動を見ることができ、私は、強く感動しました。

丹頂は、大きな翼、優雅な形、そして白い冬を背景に好対照をなす独特の赤い冠の姿は、とても気品があり美しく、私はそれらを見て、丹頂の生活環、生息地、そしてあやうく絶滅しかけた歴史と保護活動について学ぶことを、時を忘れて楽しみました。

釧路市ツル自然公園では、これらの素晴らしい鳥の世話と保存に生涯を捧げてきた高橋名誉館長にお会いできてとてもうれしく思いました。高橋名誉館長はじめ、釧路市タンチョウ鶴愛護会と阿寒国際つるセンターの献身的な努力が実って、丹頂数は徐々に増えています。私は外国人ではありますが、そのような日本の生活と文化の象徴的存在を守ることがいかに重要であるかを理解し、すばらしいことだと思っています。

(マイク・イープリ)



ツルセンターで河瀬館長よりタンチョウの羽根についての説明



鶴公園で高橋名誉館長の説明を聞きました

阿寒高校のボランティア活動



2018年から学校のグラウンドにニオを建て、給餌活動を始めました。

2019年1月1日午後1時の鶴クイズに参加しようとアピールをしました。



愛護会のホームページ冒頭部分を英語に翻訳するボランティアを行いました。

メールでやりとりをしながら、マイクさんに添削をしてもらいました。

阿寒高校のボランティア活動

マイさんや阿寒高校の皆様のご協力で英語のホームページを作成しています。

今年の夏頃には公開できるよう取り組んでおります。

〈お願い〉

英語や中国語(簡体字・繁体字)、韓国語の翻訳等のボランティアをして頂ける方を探しております。